

## ■冬の八甲田は樹氷が名物、“スノーモンスター”と呼ばれる造形美が魅力

青森県のほぼ中心部にそびえる八甲田連峰は、奥羽山脈最北端に位置し、冬は樹氷と山岳スキーで知られています。

八甲田連峰は、大岳（おおだけ・標高 1584 m）を中心とする北八甲田火山群と櫛ヶ峰（くしがみね・標高 1516 m）を中心とする南八甲田火山群から成り立っています。

八甲田連峰の冬の名物は“スノーモンスター”と呼ばれる樹氷です。これは樹木に雪氷が吹きつけられたもので、まさにモンスターのようユニークな造形美が魅力です。

樹氷見物は、北八甲田の八甲田ロープウエーが最適。標高差 650 mを約 10 分で運んでくれ、雄大な八甲田の峰々を望みながら、眼下には立ち並ぶ樹氷を間近に見ることができます。

このロープウエーに沿った斜面は、山岳スキーのコースとしても人気。家族連れには、八甲田スキー場のリフトが設置された緩斜面がおすすめ。ただし厳冬期の天候は変わりやすく、装備は万全に。

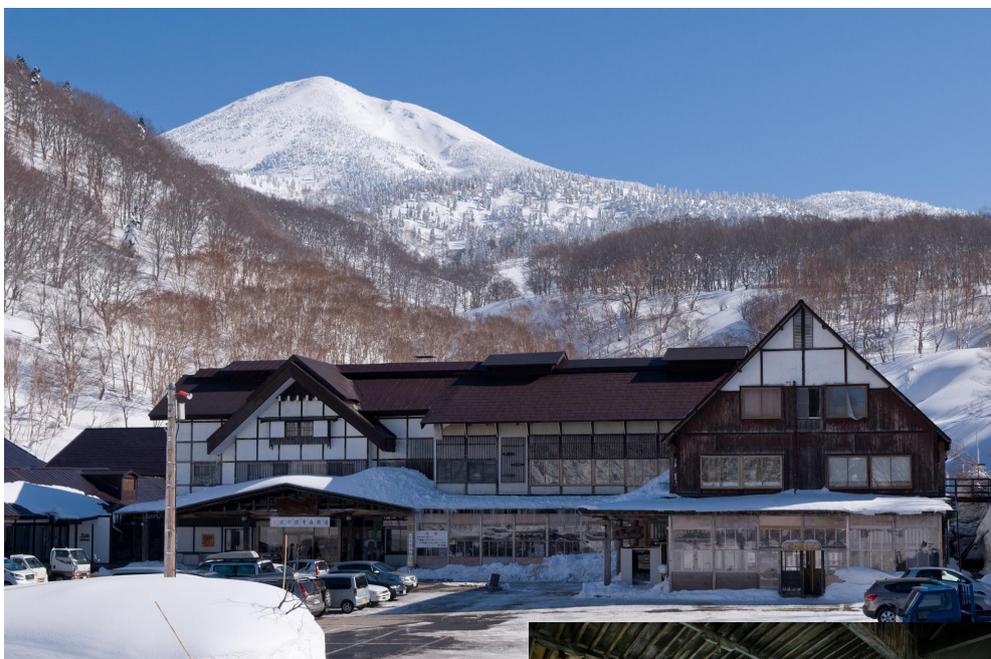


## ■温泉は県内全域に点在し、青森の旅には欠かせない存在

八甲田連峰のふもとは豊富な温泉に恵まれ、有名な温泉地があります。中でも「千人風呂」（せんになぶろ）と呼ばれる大浴場がある酸ヶ湯（すかゆ）温泉は、始まりが1684年とされる歴史ある温泉宿です。また、透明なお湯が特徴な「蔦（つた）温泉」、白く濁ったお湯で温泉量が豊富な「猿倉（さるくら）温泉」も、八甲田ならではの素朴で個性的な温泉地です。

青森県内全域にわたって温泉地は点在しますが、山岳部のほかに海岸部でも温泉が楽しめます。青森市から車で約30分の陸奥湾に面した浅虫（あさむし）地域をはじめ、美しい夕日の眺めを観光の売り物にしている日本海側の深浦町や津軽海峡を望む本州最北端・下北半島にも人気の温泉地があります。

温泉は、含まれる成分と酸性・アルカリ性のpH値などによって効能が異なります。青森県内には約150カ所の温泉地があるので、効能が異なるいろんな温泉を楽しむことができます。その温泉地の多くは自然景観に優れ、海や山からとれた食材も豊富。宿泊施設も整っていることから、温泉は青森の旅に欠かすことができない存在なのです。



酸ヶ湯温泉



酸ヶ湯温泉の「千人風呂」

## ■全国から注目！今イチオシの“味噌カレー牛乳ラーメン”

青森市生まれの人気急上昇のラーメンがあります。その名は“味噌カレー牛乳ラーメン”。同市のサッポロラーメン店が1975年に考案し、以後、学生を中心に市民の間で40年近く親しまれてきました。その存在は観光客にも口コミで徐々に広がり、テレビや雑誌などでも紹介されるようになり、最近では全国から注目される存在になりました。平成20年には市内ラーメン店が「青森味噌カレー牛乳ラーメン普及会」を組織し、味の伝承とPRに拍車をかけています。

どんな味なのかというと、その名の通り味噌をベースにカレー粉、牛乳を入れたラーメンで、バターが自動的にトッピングされます。この組み合わせが意外にも絶妙で、一度食べたらやみにつきになるような味わい。青森市で誕生したオリジナルラーメンを、まずはお試しください。

